

2020年度 東北大学・熊本大学 履修証明プログラム
産学連携教育イノベーター育成プログラム 募集要項

1. 目的

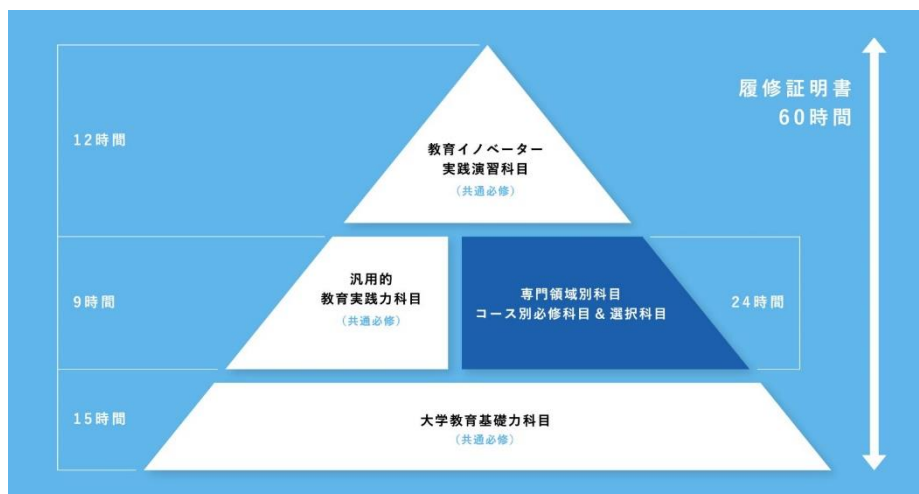
産学の連携により、学生がインターンシップで実社会を経験しながら、社会と結合した大学での学びに注力することが卒業後の活躍につながる社会、リカレント教育など社会人となっても学び続け、チャレンジし続ける時代がようやく到来するか、重大な岐路を迎えています。このような中で教育・雇用一体改革を軌道に乗せることに貢献すべく、学びと社会をつなぐことにより、学生の大学教育への動機付けを高めるとともに、社会人をリカレント教育へ惹き付けることを目指します。

本プログラムでは、産学が連携して人材と知の循環を促進しつつ、実践的かつ広く深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現と、未来を拓く人材の各界への輩出のため、その中心的役割を担う実務家教員を育成することを目的としています。

2. プログラム概要：履修証明プログラム「産学連携教育イノベーター育成プログラム」

履修証明プログラムとは、社会人等を対象に大学の教育・研究資源を活かし、一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、プログラム修了者には、学校教育法 105 条に基づき履修証明書（Certificate）が交付されます*1。

「産学連携教育イノベーター育成プログラム」は、文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」に採択された「創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム」の取組の一環です。同取組では、実務家教員を育成する研修プログラム「産学連携教育イノベーター育成プログラム」（以下、プログラム）*2を提供します。



*1：履修証明制度は、教育機関等における学習成果を職業キャリア形成に活かす観点から、現在政府全体で検討・推進している「ジョブ・カード制度」においても、「職業能力証明書（ジョブ・カード・コア）」として位置付けられています。履修証明プログラムを各種資格の取得と結び付けるなど、目的・内容に応じて職能団体や地方公共団体、企業等と連携した取組も期待されています。

*2：2020年度は東北大学及び熊本大学のみ開講。2021年度より大阪府立大学「アントレプレナーシップ教育力育成コース」及び立教大学「リーダーシップ開発力育成コース」を開講予定。

プログラムは4つの科目で構成されています。その一つである「専門領域別科目」は、次のコースよりいずれかを選択してください。

東北大学「産学連携リベラルアーツ教育力育成コース」は、アクティブラーニングによるリベラルアーツ・セミナーやPBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）を含む教育実践、大学教員準備研修・新任教員研修や大学のリーダー育成のための履修証明プログラム（BP）など、大学教員育成に関する総合的な教育関係共同利用拠点として、海外大学との国際連携を活用して最先端のプログラムを日本に適合するよう内製化する形で開発・実施してきた知見の蓄積を活かし、産学連携によるリベラルアーツ教育を担う実務家教員の育成を目指します。

熊本大学「インストラクショナルデザイン指導力育成コース」は、企業内教育訓練を含む教育の効果・効率・魅力を高めるインストラクショナルデザイン（ID）の日本におけるメッカとも言える存在として、米国等における先進的取組と連携しつつ、日本初のeラーニング専門家養成大学院「教授システム学専攻」を設置・運営してきたオンライン実務家教育の専門性にに基づき、学習成果のエビデンスに基づく効果的な教育実践を産学に普及できる実務家教員の育成を目指します。

コースを提供する当該大学にて履修登録されます。修了した際には、履修大学の学長名において履修証明書が発行されます。

（詳細は別紙「産学連携教育イノベーター育成プログラム 科目概要」を参照）

3. プログラムの達成目標

本プログラムが育成する実務家教員「産学連携教育イノベーター」の人材像に必要な到達目標として、次の3つの学習成果の獲得を掲げています。これらの到達目標については、目標ごとに到達度を示すポートフォリオ評価を添えることにより、プログラム全体の学習成果を明示します。

- ① 大学教員として教育を担うための**基礎的知識・技能・態度を身につける**
- ② 各コース（東北大学「産学連携リベラルアーツ教育力育成コース」及び熊本大学「インストラクショナルデザイン指導力育成コース」）に設定する**専門領域（汎用的な専門性）における教育実践力を身につける**
- ③ 学びと社会を繋ぐ実践知・学術知往還及び学習成果のエビデンスに基づく教育変革を先導する**「教育イノベーター」としての変革力を身につける**

4. 応募資格

下記、①②の両方を満たす者。

- ① 大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者
- ② 原則として専門的技術的又は管理的な職務において5年以上の実務経験を有する者

5. 定員 50名（2コース合計数）

6. 費用

- ① 入学金：なし
- ② 受講料：300,000円
審査結果通知書と共に振込依頼書を送付します。指定日（10月中予定）までに振込を完了させてください。支払われた受講料は、返金いたしません。プログラムを途中で辞退された場合でも同様です。
- ③ その他：集合研修等（演習や模擬授業等）への参加にかかる旅費・宿泊費等は自己負担とします。

7. 応募方法

- ① 応募期間：2020年7月1日（水）～8月5日（水）
- ② 応募書類：文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」産学連携教育イノベーター育成プログラム ウェブサイト (<https://jitsumuka.jp/innovator/>) にて応募書類をダウンロードし、必要事項を記載の上、提出すること。
 - ・申請書
必要事項を入力してください。本人確認のため、写真の貼付は必須です。
 - ・志望理由書（A4×2ページ以内）
以下の(1)～(3)の項目を見出しとして設定し、記述してください。
(1) 受講動機、(2) 現代の大学教育への関心・問題意識、(3) プログラム修了後の抱負
 - ・承諾書（内容の規定なし）※企業などの所属先より派遣される方のみ提出
所属先の了承のもと、当プログラムを受講していることの確認書類として、所属部署の長等の承諾書が必要です。
- ③ 申請先：産学連携教育イノベーター育成プログラム ウェブサイトより申請すること。
エントリー用 URL： <https://jitsumuka.jp/innovator/entry2020/>

8. 選考方法・日程

選考基準に基づき、一次審査（書類審査）及び二次審査（オンライン面接）による選考を行う。

応募書類締切	2020年8月5日（水）
一次審査（書類審査）結果通知	2020年8月中旬予定（メール通知）
二次審査（オンライン面接）	2020年8月24日（月）～9月1日（火） ※オンライン面接の日時は、応募者と調整の上決定
二次審査結果通知	2020年9月中旬～下旬
受講関連資料送付	2020年9月下旬

9. 2020年度スケジュール^{※1}

受講開始日	2020年11月1日（日）
大学教育基礎力科目（オンライン学習）	2020年11月～2021年1月
汎用的教育実践力科目・専門領域別科目・教育イノベーター実践演習科目（オンライン学習及び対面演習 ^{※2} ）	2021年2月～6月
修了日	2021年7月下旬

※1：詳細は別紙「産学連携教育イノベーター育成プログラム 科目概要」及び「産学連携教育イノベーター育成プログラム 日程表」を参照してください。

※2：新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、日程や実施方法等の変更を行う可能性があります。

10. 在籍期間

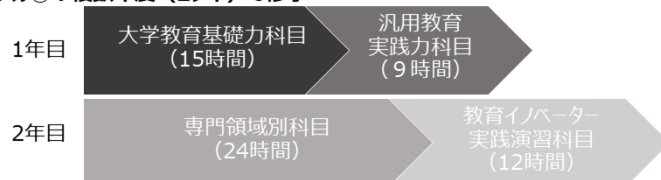
本プログラムの在籍期間は3ヶ年とする。プログラムの受講については、下記モデルを参照。

受講モデル（参考）

モデル①：同一年度で修了



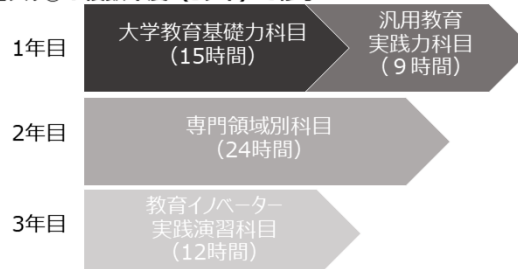
モデル②：複数年度（2ヶ年）で修了



モデル③：複数年度（3ヶ年）で修了



モデル④：複数年度（3ヶ年）で修了



11. 修了要件

- ① 開講期間内（3ヶ年以内）に本研修プログラムの60時間の課程を履修し、全科目に合格すること。
- ② 履修大学において、教授会に相当する機関での認定を受けること。
※①②の修了要件を全て満たした場合に、学校教育法第105条に基づき履修証明書が授与されます。

【問い合わせ先】

産学連携教育イノベーター育成プログラム事務局
東北大学 高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター（担当：稲田・西村）
〒980-8576 仙台市青葉区川内 41
Tel: 022-795-4471 Fax: 022-795-4749
Email: innovator.jitsumuka@grp.tohoku.ac.jp